

## 【全国発信記事】 愛媛支部

### 《愛媛県》《愛媛県議会》《愛媛県教育委員会》へ申し入れ

愛媛支部は、第82回定期全国大会の決定事項に基づき、12月21日に愛媛県と愛媛県議会、愛媛県教育委員会へ申し入れを行い、活動方針の具現化に向けての活動を展開した。

申し入れには組合政治参与の菅森実愛媛県議会議員と山岡健一今治市議会議員にご同行いただき、また全国海友婦人会の黒川ヒサ子今治支部長と石川稔愛媛県議会議員に同席いただいた

#### 主な申し入れ内容

▽フェリー・旅客船の維持・存続に向けた実効ある支援策について

▽外国航路などに従事する日本人船員に対する住民税減免措置について

▽初等・中等教育機関における海事思想の普及ならびに船員養成教育機関と関連施設の維持・拡充について

▽料金收受業務に従事する組合員の雇用と安定した職場の維持・存続に向けた具体的な施策を講じること

一など。申し入れでは、はじめに清水駿愛媛支部長から申し入れの趣旨と内容、海員組合の活動と船員職業の役割や重要性について説明し、その後の意見交換で理解を深めた。

#### 意見交換で示された考え方

《愛 媛 県》 ご対応者 藤井大輔企画振興部政策企画局長

多くの離島を有する愛媛県において、フェリー・旅客船の重要性は理解している。昨年度は県管理港湾施設において、売上額の減少幅に応じて港湾使用料減免措置を実施した。

▽12月定例県議会において、公共交通運行継続特別支援事業費が可決され、輸送収入が減少した航路事業者に対し、1隻あたりの総トン数に応じ60万円～910万円を支給する

▽本四架橋料金收受業務を取り巻く問題については、担当部署に申し伝えたい

《愛 媛 県 議 会》 ご対応者 中畑保一議長

新型コロナウイルス感染症の影響により、フェリー・旅客船の輸送実績が大幅に落ち込んでいることは理解しており、県議会としてできる限りの対応を行いたい。

▽本四架橋料金收受業務を取り巻く問題については、動向を注視していきたい

《愛媛県教育委員会》 ご対応者 小池達士義務教育課長

小・中学校では、フェリー・旅客船や水産分野において職場体験学習を行っており、海を身近に感じられるよう実施している。

▽愛媛県立宇和島水産高等学校について、ホームページやパンフレットで日々の学校生活などを紹介し、高校の魅力を伝え、入学希望者の増加につながるよう努めている

▽実習船「えひめ丸」は船齢19年が経過しており、新造船について今後の検討課題となっている